七北田公園から発信する杜の都のシビックプライド ~あらゆる主体を巻き込んだ、更なる七北田公園利活用の促進~

令和5年度実施事業中間報告会(継続)

7 DAYS, Peace.

(七北田公園活性化協議会)

SUSTAINABLE GOALS





































団体概要

<団体名>

7DAYS, Peace. (七北田公園活性化協議会)

く団体のミッション>

七北田公園の活性化を通し、泉中央を市民の皆様の目的地にする

く構成メンバー>

泉青年会議所OBを中心に約30名

<これまでの取り組み>

IZUMIパークディ (泉区共催)

IZUMINATION(泉青年会議所共催)



ト課題の把握

多様な主体と連携し、公園から地域の賑わい(特に人流増加、経済活動)を創出 日常の公園利用者増加と滞在時間の延長で、新たな人流を生み、近隣の商業・ 飲食街への波及を目指す

▶ 事業の目的

- 1、「毎日の生活に公園を」七北田公園ブランドの向上
 - ・公園の魅力発信
 - ・新規訪問者、リピーターの増加
 - ・滞在時間の延長

2、持続可能な公園運営のために、安定した収益源を確保

- ・仮設店舗の実績から、将来的な収益性(出店料等)を確保し、設備投資・ 維持管理費用を賄う。
- ・イベント開催を促進する仕組みの整備を目指す

3、利用者データを把握

・現状を正しく分析し、問題課題の設定、さらなる利活用・改善を続ける

- ▶ 令和5年度事業の効果と目標
 - 1、仮設店舗設置 期間中の利用者実績 5,000人以上
 - 2、利用者のデータ把握と傾向分析の実施 訪問者データ(年代、性別、時間帯)、売上分析(時間ごとの売上 データ蓄積)を傾向分析し、当団体HPにて公開
 - 3、事業協賛 持続可能な事業運営の為に、事業協賛等10社以上を実現
 - 4、事業期間中 イベント開催相談支援 3件 公園のサービス向上を目指して、利活用のルール整備を検討します。
 - 5、七北田公園の情報発信 年間の閲覧者10万以上(SNS等を含む)目標

▶協働先

建設局 百年の杜推進部 公園管理課

- ・仮設建築物設置にあたり、各申請アドバイス・後援等の協力
- ・市民協働事業にあたり、月1度の定例会議の開催
- ・ルール策定及び運営会議などの協議会設立に向けた協議

▶ 事業実施にむけての各種申請等の動き

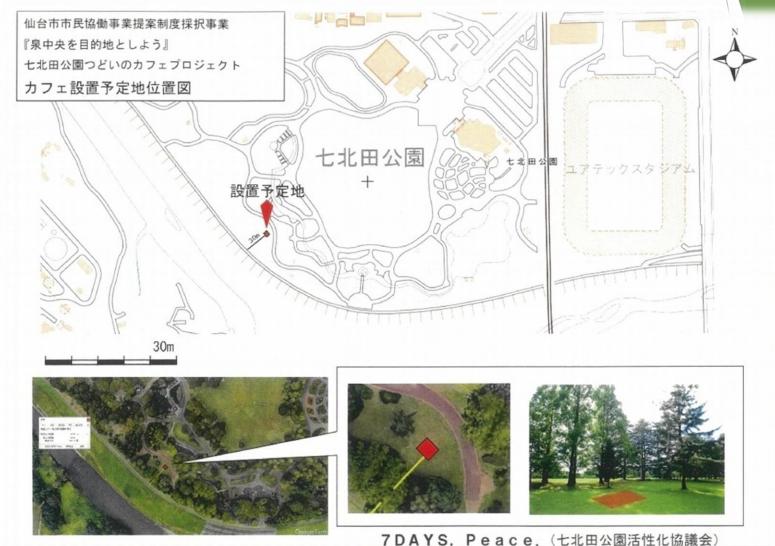
· 公園管理課 : 公園施設設置(管理)許可申請

· 建築審査課 : 仮設建築物等建設許可

・街並み形成課 :53条許可

· 泉区衛生課 : 食品営業許可

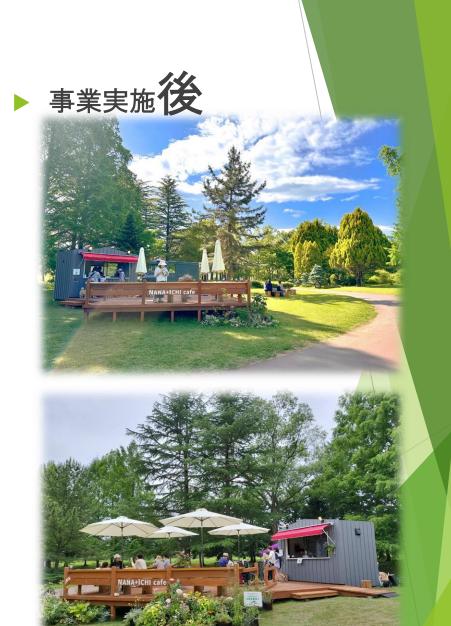
▶ 事業実施場所



▶ 事業実施**前**







▶ 事業実施前



▶ 事業実施後



事業概要

▶ 事業実施の様子

市民参加型花壇製作ワークショップ





▶ 事業実施の様子

椅子の色塗りワークショップ



事業概要

▶ 事業実施の様子 ドライフラワー 木のおもちゃワークショップ





▶ データ分析について

1.概要



目的

- ①常設飲食店を設置・運営することで人が自然と集まる公園になるかの検証
- ②一過性のイベントだけではなく、日々の賑わいを創出
- ③地域への波及効果の検証(アンケート調査)

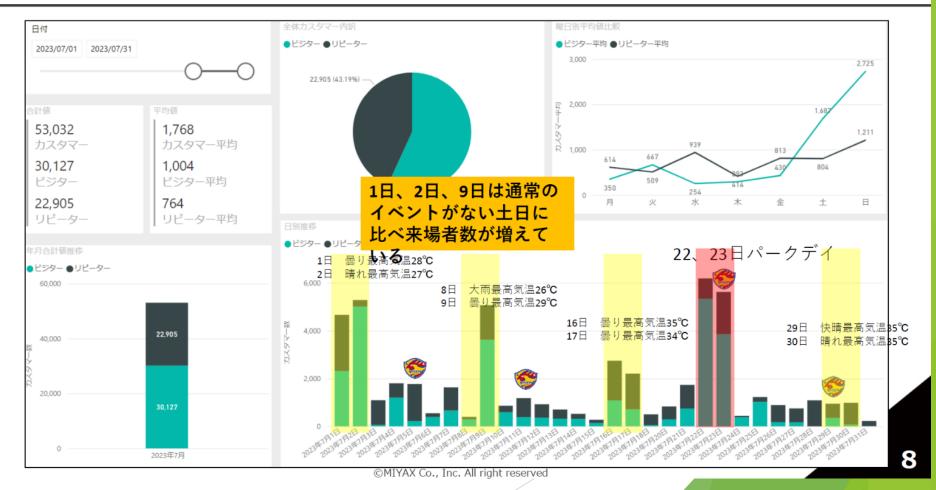
収集するデータ

- ① Aibeaconによるデータ収集
- ②カフェの売り上げデータ
- ③アンケート調査(聞き込み)

▶ データ分析について 令和5年7月計測時

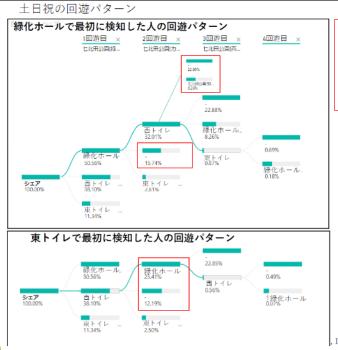
2.収集したデータ①Aibeacon(カスタマー計測7月)





- ▶ データ分析について
- 2.収集したデータ
 ②Aibeacon 回遊パターン





【考察】

- ①緑化ホールのみを利用して帰る人が15%いる。
- →ワークショップや、習い事等が終わると帰宅している可能性がある。

②多くの人が公園を利用している

2.収集したデータ ③Aibeacon 関連エリア



MIYAX — DIGITAL

【考察】

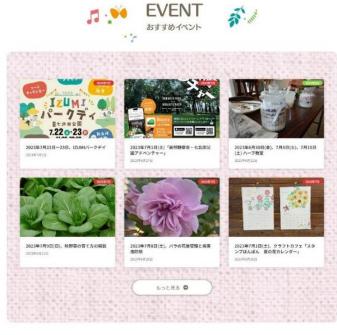
- ①平日、土日祝日で変化は少ない
- ②来場者の大半が仙台市内
- ③仙台市の中でも泉区を中心に来場している。
- →泉南を伸ばすことができないか。

▶ HP・SNS等を活用した情報発信













- ■公園利用のルールや公園の活性化等を検討するプラットフォーム構築に向けた動き
- →公園管理課及び七北田公園緑化ホールとの月1回の定例会議を設ける中で、 協議会設立への準備を進めた。
- ■公園内イベント開催における各種相談支援の開催

【定例会議の様子】

【イベント相談の様子】

【大学生WGの様子】





令和5年度事業実績

▶ ·NANA+ICHIカフェ 利用者数の集計(売上ベース)

```
5月1,036人(平日86.0人/週末123.0人) 11月1,862人(平日70.2人/週末121.5人) 6月1,536人(平日40.1人/週末139.1人) 12月1,617人(平日16.3人/週末110.6人) 7月 679人(平日30.2人/週末 69.4人) 1月1,102人(平日22.9人/週末81.7人) 8月 693人(平日24.4人/週末 54.3人) 2月1,220人(平日20.0人/週末100.0人) 9月 787人(平日34.0人/週末 81.4人) 3月1,217人(平日22.0人/週末 87.1人) 10月1,734人(平日77.8人/週末235.5人) 4月2,158人(平日56.0人/週末164.4人)
```

合計 15,641人

令和5年度事業実績

▶ ・イベント実施数、相談支援件数

5/27 DIYスタジオワークショップ 8/19~9/3 住文舎写真展示 10/8 ナナキタフリーマーケット 10/22 ウェディングマルシェ 10/21~29 IZUMINATION 10/28 ハロウィンマルシェ 11/3 Lady Go Camp2023 11/11 PARK LIFE 相談支援 3件

▶ ·HP&SNS閲覧者数及びフォロワー数 12月末時点

HP検索閲覧数

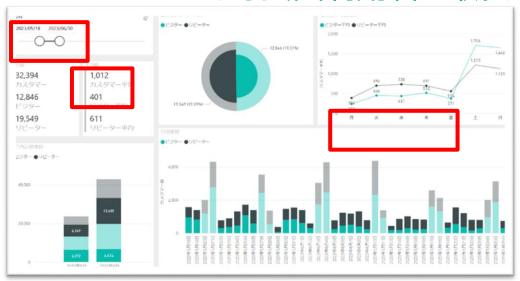
→4742人(昨年比6倍)

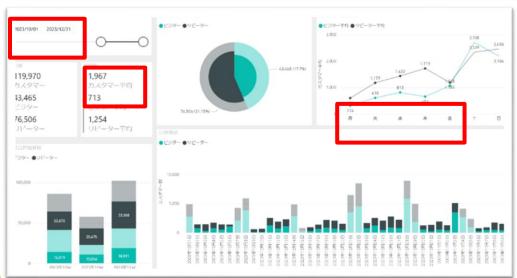
Instagramフォロワー数

→オープン前650程度→1,597 (昨年比2.6倍 12月末時点)

R5年度の実績(12月時点)

・AIビーコンによる公園利用者の取りまとめ(平日)





5/18~6/30(オープン時)

平日平均来園数 1,012

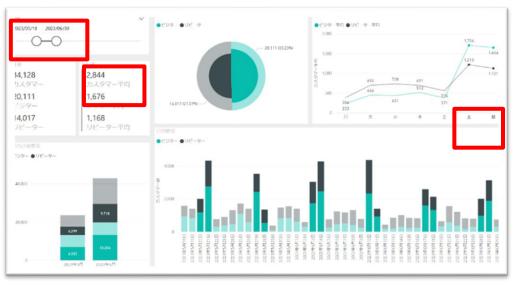
94.4%增

10/1~12/31

平日平均来園数 1,967

R5年度の実績(12月時点)

・AIビーコンによる公園利用者の取りまとめ(週末)





5/18~6/30(オープン時)

週末平均来園数 2,844



10/1~12/31

週末平均来園数 4,832

令和5年度で見えてきた課題

■出来たこと

- ・七北田公園の回遊性
- ・新規顧客の開拓(初来園者の発掘)
- ・カフェの自立的な運営

■出来なかったこと、不足していること

- ・データ解析の不足 (人が来そうな時期のデータ抽出、時間帯毎の人流データの解析)
- ・夜間営業のニーズの継続的計測
- ・泉中央地区までの波及に関して
- ・チャレンジショップ
- ・キッチンカー出店のルール制定
- ・ベガルタとの協働への課題





> 課題の把握

また、昨年度事業を踏まえての課題として、既にイベント実施を成功している団体等との連携は達成したが、新しくまちづくりの担い手になり得る人の参画できる機会が少ない現状がある。

▶ 事業の目的

新たな公園サービスの提供として、仮設店舗を核とした、 公園利用者向けの飲食サービスや各種プログラムを展開し、に ぎわいを創出させる。

また、<u>多様な主体と連携した公園づくりとして、若い世代や新たなまちづくりの担い手が、参画や連携したすいような環境づくりを行い、利活用を加速させる。</u>

- ■令和6年度事業の効果と目標
- (1) 仮設店舗の設置・運営
- →民間や企業など各種団体との連携プログラムの展開等により、NANA+ICHI CAFÉ の更なる可能性を探り、利用者数昨年度比20%増を達成する。
 - (2) イベント相談支援・管理運営協議会設立に向けて
 - →相談支援の<u>実施件数4件以上</u>を目指す。七北田公園管理運営協議会の準備委員会を設立し、<u>年3回の開催</u>を目指す。







- ■令和6年度事業の効果と目標
- (3)情報発信
- →HP年間閲覧者数<u>25%増(今期約5,000回)</u>を達成し、更なる本事業の浸透を図るまた看板等の広報物も更に取り組む
 - (4) データ収集・利用者分析
 - →今まで把握できていなかった公園利用者のデータを収集し、七北田公園における**「基礎データ」**とする





- ■事業の具体的な内容
- 1) 仮設店舗の設置・運営 (+α営業形態の柔軟対応・スタートアップ 支援プログラムの実施)
- ①営業形態を柔軟に変化させ、利用者増減に対する課題に対応する
 - ·NANA+ICHIカフェの主に夏期における利用者減少に対応するため、 夜間営業を定期で運営中。
 - 公園内におけるさらなる飲食施設の需要を計測する。
- ②民間事業者に対するスタートアップ支援プログラムを実施
- ・民間事業者が試験的に営業できるテナントを設け、**HP応募により** 新たな事業者との連携を図っている。
- ③多様な主体と幅広く連携し、新たな利活用を促進
- ・大学生サークルや泉区役所組織の団体等、**学生団体との各種イベ** <u>ントやプログラムを実施中。また個人でのワークショップの</u> 開催支援も行っている。

- ■事業の具体的な内容
 - (2)イベント相談支援・管理運営協議会設立に向けて
 - (+αイベント出店者へのサポートやヒアリング・準備委員会の組織)
 - ①相談者が自立してイベント実施できるようなサポート
- ・イベント相談者に対し、今まで「共催」として実施してきたイベントを「主催」へと導く相談支援を実施→相談件数4件
 - ②出店者へのヒアリングやアンケートを実施、ニーズの把握
 - 出店者へのヒアリングやアンケートを実施中。
 - ③七北田公園管理運営協議会の準備委員会を組織する
- ・関係団体をメンバーに加えた、<u>七北田公園管理運営準備委員会を</u> 組織中。公園の利活用促進やルール制定に向けた議論を進める 予定。

- ■事業の具体的な内容
- 3) HP・SNSによる情報発信(+αイベント情報の発信窓口・ブランディング) ①本事業の更なる浸透を図り、公園利用者の集客向上を目指す
- ・引き続き公園利用者のための情報発信を継続し、<u>まだ浸透が少ないと</u> 考える若い世代を中心に、公園利用者の集客向上を目指していきます。
 - ②情報発信による、七北田公園のブランディングを行う
 - ・HPやSNSを通じて公園の魅力を発信することで、七北田公園のブランディングを行い「目的地」として行きたくなるような公園を目指し情

報発信中。

- ③現場での情報発信の充実化を図る
- ・公園内における案内を工夫して行うことで、 事業の案内を積極的に行っている。

◆協働想定課とどのように連携していくか

- ・各種許認可における公的バックアップ
- ・データ収集、及び各種社会実験イベントのバックアップ
- ・公的立場からの助言、アドバイス(定例会議)

◆団体内での体制や外部団体との連携など

- ・IZUMIフードリンクラブ(泉中央の飲食店組合)との連携
- ・ベガルタ仙台との連携イベントの開催
- ・各種集客イベントの開催(企業及び一般、大学生等との連携)
- ・泉中央地区で活動する団体やこどもの遊び場づくりを実践している団体との連携





- ◆今後の展開
- ・公園×子育て×カフェ空間



・焚火×語り場



我々は、杜の都の仙台市民としての シビックプライドを公園から発信いたします

新たな毎日に、公園を 7 DAYS,Peace.

